

浜坂で「び〜ちふえすた」

暑さに負けず白熱プレー



砂の上で白熱した試合を繰り広げる選手＝6日、新温泉町の浜坂県民サンビーチ

67チーム、熱気や歓声あふれ

新温泉町の浜坂県民サンビーチで6日、4人制ビーチバレーボール大会「び〜ちふえすた2023」（実行委主催）が開かれた。県内外から男女混合のミックスの部に51チーム、女性のみのレディースの部に16チームの計67チームが参加。強い日差しの中、選手たちは暑さに負けず白熱した試合を繰り広げた。（前田一樹）

同ビーチを山陰海岸のビーチスポーツの拠点として発信しようと開かれており、今回で16回目となる。

この日は、日中の最高気温が豊岡で38・8度、香住で今年最高の36・6度を記録する猛暑日に。選手たちは、熱くなった砂浜の上でもプレーできるよう靴下を履くなど対策を徹底して試合に臨んだ。

照りつける日差しの下、乾いた砂に足を取られながらも懸命にプレー。ボールを追って顔から勢いよく砂に飛び込んだり、点を取って仲間とハイタッチするなど、会場は選手の熱気や歓声であふれた。バレーボール元日本代表

の青山繁さんやビーチバレー元日本代表の石島雄介さんらもゲストとして会場を訪れ、試合などを通じて参加者と交流した。

初めて参加したという浜坂高男子バレーボール部の中村修士さん（16）は「砂の上は動きづらくて思い通りプレーができなかったが、とても盛り上がり楽しかった。来年もまた出場したい」と笑顔で話していた。